

日本YWCAの使命(ミッション)
イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する
世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

第29総会期主眼
平和を実現する人々は幸いである—マタイによる福音書5章9節

- 日本YWCAビジョン2015
- (1) 非核・非暴力による平和を構築する
 - ・ 平和憲法をまもり、世界に広める
 - ・ 市民レベルで東北アジアの信頼関係を築く
 - ・ 女性と子どもの権利をまもる
 - ・ パレスチナYWCAの活動を支援する
 - (2) 若い女性のリーダーシップを養成する

YWCA 11

NOV. 2007

発行所 日本キリスト教女子青年会
〒102-0074
東京都千代田区九段南4-8-8
Tel. 03-3264-0661
E-mail. office-japan@ywca.or.jp
編集発行人 石井摩耶子
振替 00170-7-23723 (毎月1日発行)
定価1部 150円
年間購読料2,200円 (送料込)
www.ywca.or.jp



世界YMCA/YWCA合同祈禱週 2007年11月11日-17日

何よりも大切な子どもたち

YMCA/YWCA合同祈禱週は、世界中のYWCA/YMCAに連なる人々が、ひとつのテーマのもとに祈り行動する機会として、毎年11月第3週に守られます。

両会長からのメッセージ

親愛なる姉妹・兄弟の皆様へ
YMCAとYWCAがほかのNGOと異なる点は何でしょうか。そのひとつの答えは私たちがキリスト教を基盤とした組織であり、イエス・キリストへの信仰において、私たちの動きが動機づけられ、励まされているということです。この祈禱週は、私たちが仕事に追われる忙しい日々をひと時を割いて、YMCA/YWCAとして行っている日頃の活動とその目的とのつながりについて、静かに省み考えるために設けられています。また、私たちが聖書のコンテクストから自分たちの仕事を振り返り、私たち自身のため、会のため、また私たちが仕えようとしている人々のために、イエス・キリストの教えから導きと励ましを見出す時でもあります。そしてもちろん、祈るときでもあります。

イエスが社会の周縁にいる人々と多くの時を共にされたということはよく知られていることです。そして、この事実は、まさに私たちの組織を特徴づけるもうひとつのことを裏付けています。すなわち、私たちは特に傷つけられやすく危険に面している人々に仕えることを目的としているということです。このような弱者のグループのひとつである「子ども」に今年の祈禱週は焦点を当てます。子どもたちは性的奴隷とされ、少年・少女兵として使用され、労働市場に早い段階から送り込まれ、教育の機会・食料・住居を奪われるなどその劣悪な状況は枚挙に暇がありません。イエスは、私たちがいのちを得るため、しかも満ち足りたいのちを得るために、自らがこの地に来たとおっしゃいました。しかし、こうした子どもたちにとって、満ち足りたいのちとは何を意味するのでしょうか。

この週、私たちがYWCA/YMCAの会員として共に集う時、いのちを与える神のみ言葉によって新たにされ、教え導かれることを祈ります。すべてのいのちの源なる神が、正義への渴望とあらゆるものへの愛、特に子どもたちへの深い愛をもって、私たちを新たにしてくださいませように。

マーティン・メイブナー
世界YMCA同盟会長

モニカ・ゼツチェ
世界YWCA会長
(翻訳協力：浜本真理・安川美歩)



ひとりぼっちじゃないよ 一緒に考えよう

NPO法人カリヨン子どもセンター理事長・弁護士
坪井節子



子どものためのシェルター「カリヨン子どもの家」を開設してから、3年が経過しました。虐待や非行などの困難を抱えた10代の子どもたちが、これまで約90名も避難してきました。私は弁護士として、いじめ・虐待・少年犯罪などに陥って苦しむ子どもたちの現実には、相当触れてきました。しかしカリヨンに避難してくる子どもたちの修羅場に直面し、まだまだ知らない現実があったのだと思ひ知らされています。父からの暴力・暴言に耐えかねて、何度も家出を繰り返してきた少年。毎晩ひとりで放り出されている寂しさから、売春や自傷行為に陥った中学生。高校をやめさせられ、アルバイト代をすべて親にとりあげられてきた少女。精神を病んだ母親に、首を絞められ、包丁を突きつけられてきた高校生。一人ひとりが、壮絶な人生を生き抜いてきています。しかしこの子にも共通している

のは「死にたい」「自分なんか生きてる価値がない」と自分を否定すること、「大人なんか信用できない」「もう裏切られるのはごめん」という大人不信なのです。いったい私たちに何ができるのかと、無力感に打ちのめされることも、しばしばです。でも、子どもたちは、十分な食事・ゆつくり休める個室・おしゃべりや買い物につきあってくれるスタッフとの生活の中で、少しずつ落ち着いていきます。ひとりの子どもに、必ずひとりの弁護士がつくので、親や学校や職場との交渉、これから先の生活について、弁護士と相談しながら、道を見つけ出していきます。カウンセリングや医師・児童相談所や福祉事務所、たたくさんの大人たちが、手を携えて、ひとりの子どもを囲み、「ひとりぼっちじゃないんだよ。一緒に考えよう」というメッセージを送り続けるのです。

*NPO法人カリヨン子どもセンター・困難を抱えた子どもたちのために設立。シェルター「カリヨン子どもの家」と自立援助ホーム「カリヨンとびろうの家(男子)」と「カリヨンタヤけ荘(女子)」を運営。問合せは東京弁護士会まで。〒100-0110 TEL. 3-3603-0110

にし、甘え、さまざまなトラブルを起します。大人たちは混乱させられながら、寄り添い続けようとしています。するといつか、固く閉ざされていた扉が、すつと開く瞬間が来るのです。そこに見えるのは、「生きたい。愛されたい」という微かな炎。この炎が燃えあがりだすとき、間だけを感じていた子どもが、光の方に向き直り、歩き始めます。差し込む光の鮮やかさは、その場面に立ち会うことを許された私たちに、強い希望を与えてくれます。

子どもをひとりぼっちにしてはならない、子どもと共に生きるのだと、こころいう喜びを味わえるのだと、たくさんの人に知ってほしいと願わずにはいられません。

第168臨時国会は、安倍総理の突然の辞任という前代未聞の事態により3週間空転した後、福田康夫総理のもとで再開の運びとなりました。再開国会では、さきに強行採決した高齢者医療費負担増の凍結や障害者自立支援法の見直しなど、来春にも予想される衆議院選挙を意識しての「人気挽回政策」が取り上げられる予定です。

焦点の一つは対テロ戦争への協力をするかどうかです。2001年11月以来、海上自衛隊は米国のアフガニスタン攻撃に協力して、インド洋で米艦艇などに無償で給油を続け、その量は約48万キロリットル、金額は20億円に上るといわれます。更にこのオイルがイラク作戦に参加する空母キティホークに間接給油されたことが判明しました。日本は「イラク特措法」だけでなく、「テロ特措法」でもイラク戦争に加担していたのです。

あの9・11同時多発テロで犠牲になった方と遺族の無念を悲しむは癒えるものではありません。テロ行為が許されて良いはありませぬ。しかし一國が軍隊を出して他国を攻撃する戦争とテロは同じではありません。テロの原因に大国は思いを致さなければと考えます。ましてやテロ一掃を口実に他国の天然資源を独り占めしようと企てるなどんでもないと思うのです。

今回、日本政府は「給水・給油活動」に絞った新法案を提出して協力を続行するといっています。野党多数の参議院で法案がどう取り扱われるかが注目されるところです。

いま在野の私たちは、月に一度、首相に自衛隊をインド洋からも撤退させることを要請し、野党議員にも協力を求めることをしています。私たちが税金を破壊や殺人にではなく、再建支援のために使ってもらいたい、日本国憲法を生かして、自衛隊を自然災害・戦後復興支援隊に再編成し、どの国からも信頼され、喜ばれる働きのできる組織に変えてほしいと願うものです。

(東京YWCA会員)

自衛隊、インド洋からもイラクからも撤退を！

毛利亮子

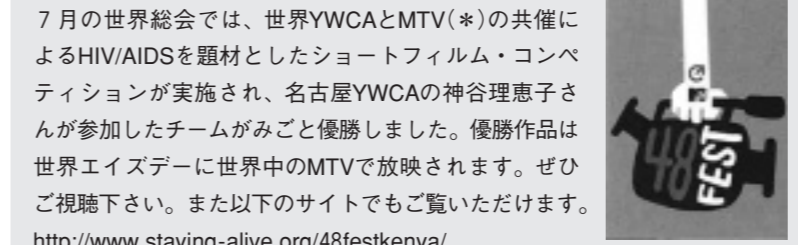
12月1日は世界エイズデーです 世界の情報をお届けします

12月1日は世界エイズデーです。あなたのYWCAではどんな取り組みをなさいますか？

●「もしも誰にもうちあけなかったら」発行
国際コミュニケーションチームが翻訳出版する『もしも誰にもうちあけなかったら』（1冊500円）は、HIV陽性女性たちをめぐるストーリーです。AIDS問題をさまざまな角度から考えるのに最適な本です。ぜひ読んで広げて下さい。本のご注文・お問合わせは日本YWCA（担当・根岸）まで。

●HIV/AIDSに取り組むための「10の行動計画」
HIV/AIDSにおける女性のリーダーシップをテーマに、7月ケニアで開催された国際女性サミットでは「10の行動計画」が採択されました。日本YWCAのHPに日本語訳があります。キャンペーンや学習活動にぜひご利用下さい。

●MTVフィルム・コンペティション
7月の世界総会では、世界YWCAとMTV(*)の共催によるHIV/AIDSを題材としたショートフィルム・コンペティションが実施され、名古屋YWCAの神谷理恵子さんが参加したチームがみごと優勝しました。優勝作品は世界エイズデーに世界中のMTVで放映されます。ぜひご視聴下さい。また以下のサイトでもご覧いただけます。



<http://www.staying-alive.org/48festkenya/>
日本語訳は日本YWCA・HPでご覧いただけます。

(国際コミュニケーションチーム)

*MTV: Music Television (エムティービー:ミュージックテレビジョン) は音楽やエンターテイメントなど若者向けのケーブルテレビ・チャンネル。日本では、MTVジャパンが音楽専門チャンネルを運営。

「MTV Staying Alive 48festというイベントに参加してみませんか？」ある日世界YWCAのスタッフからメールが届いた。MTVを知らない若者はいない。読んだ瞬間に「参加するしかない」と思った。Staying AliveとはMTVの世界最大の若者のためのHIV/AIDSに関するメディアキャンペーンである。48festとは若者を対象としたイベントで、チーム毎に48時間HIV/AIDSについてのシナリオを作成し、撮影し、編集し、競う。そして優勝したチームのフィルムは世界エイズデーに世界中のMTVで流れる。私のチームのストーリーは、妊娠とHIVポジティブであることを同時に知った時、女性はどのような選択をするのか、アフリカ、ヨーロッパ、アジアの女性がモノローグでストーリーを伝えるものだ。国も状況も年齢もすべて異なる設定にも関わらず、悲しみ苦しむことは一致していた。3人の女性が悲しむのはどうしてなのか、一体何が悲しませるのか。私も3人の女性の一人として出演したが、撮影の際、不思議と自然に演じることができた。自分の悲しい出来事を思い出しながら演じたが、悲しみの理由は同じような気がした。HIVポジティブを特別視するのではなく、その悲しみを共感しようとするのが、差別をなくするための重要なプロセスだと感じた。優勝して一番うれしいこと、それは自分のチームのメッセージを世界中のMTV視聴者に伝えることができるということだ。12月1日、ぜひMTVを見てほしい。

名古屋YWCA職員 神谷理恵子

日本YWCA冬のハザール日時..

11月15日(木) 17時~20時
11月16日(金) 10時半~14時

場所.. 日本YWCA会館
商品.. 高級婦人服・日用雑貨・真珠・アクセサリー・手作りお菓子他

☆ハザールの収益は、平和教育資金へ寄付されます。

一般寄付 唐崎包代 高野和佳子
平和教育資金 俵泰子 池上尊子
国際協力基金 侯泰子
世界YWCA総会派遣基金 中西トコ子

「協力ありがとうございました」
賛助費 以下敬称略
大里喜美子 岡崎雄 伊藤麗代
仁木三智子 岡崎子 押洲礼子
斎藤佐智子 古田道子 和田優子
安倍孝子 鎌原恵子 渡辺美穂子
若井安子 設楽順子 五十嵐慶子
高橋敬子 伊藤悦子 石川松子
淀川敬子 横井容子

AROUND THE GLOBE 今、地球上で



世界YWCAに新しい仲間がふえました

7月の世界総会で、7つのYWCAが新たに世界YWCAに加盟しました。新加盟YWCAを紹介します。

●コンゴ・ブラザビル
コンゴは中央アフリカに位置し、隣接するコンゴ民主共和国と区別するために首都のブラザビルの名が使われています。この国ではHIV/AIDSと共に生きる人々に抗レトロウイルス薬が供給されていますが、一方で彼らは十分な栄養を摂ることができません。2001年に創立されたYWCAは、AIDSと共に生きる女性に無料の食事提供サービスを行っています。それにより、免疫力が高まり、健康を維持することができ、地域や経済活動に参加することができるのです。

●ホンジュラス
中央アメリカのホンジュラスYWCAは、2003年にNGOとして登録しました。現在約100名の会員が活動し、若い女性が活発にリーダーシップを取っています。ホンジュラスYWCAの代表が2003年の世界総会に出席し、YWCA運動について理解を深めました。2006年、ニューヨークで開催された国連女性の地位委員会に世界YWCAの短期インターンとして、若い女性のコーディネーターが出席しました。

●ブルンジ
ブルンジは、2006年に終わった13年間にわたる内戦から立ち直ろうとしています。ブルンジYWCAは2001年から活動を始め、37名の10代の若者を含む87名の会員がいます。内戦により被害を受けた女性を力づけるプログラムを展開しています。教育を通して、女性は小規模ビジネスを立ち上げるためのスキルを身につけ、ローンや助成金の提供も受けられます。

●スーダン ヤンビオ
ノルウエーのYWCA/YMCAの支援を受けて1997年、熱心な女性グループがヤンビオにYWCAを創立しました。過去20年間スーダンは内戦状態にありました。ヤンビオから国外に出ることは非常に困難であったにもかかわらず、2003年の世界総会や2005年のアフリカYWCA地域会議に参加を果たしました。戦時下はどこでも見られることですが、女性への暴力がAIDSの蔓延を助長しました。ヤンビオのスーダンYWCAは女性が会合をしたり、お互いに助け合うための安全な場所を提供しています。

●ロシア連邦
1995年モスクワで女性のグループがYWCA創立に向けて活動を始めました。2003年ロシアYWCAは認可され、今では国内の12の地域に7つの支部を持つほど活発に活動しています。社会から取り残された人々にサービスを提供したり、障がいのある子どもたちのための幼稚園をモスクワの2カ所で運営しています。シングルマザーや孤児など、従来とは違った家族の権利を擁護し、政府の関係部門と緊密に連携して支援をしています。

●モザンビーク
モザンビークYWCAは2003年に活動を始め、2006年に認可されました。会員は2004年のアフリカ地域のHIV/AIDSに関する研修や2005年のアフリカYWCA地域会議に参加しました。モザンビークのHIV感染率は16%で世界第10位です。YWCAは若い女性を対象とした教育プログラム、AIDSと共に生きる女性が収入を得るためのプログラム、孤児と保護を必要とする子どもたちへの支援などを通してこの病気を闘っています。

●インドネシア
インドネシアYWCAは2001年に創立され、今では5支部あります。4つの重点的分野を掲げています。リーダーシップ養成、ジェンダー問題の認識、HIV/AIDS、宗教間対話による平和の構築などです。また2004年のインド洋津波以来、災害救援活動を積極的に実施してきました。2006年のジョグジャカルタの地震と2007年のジャカルタの大洪水に対しても、救援活動を行いました。

(世界YWCA季刊紙「コモンコンサーン」133号より)

